

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	間伐等森林適正管理事業			事業コード	0653
担当課等	所属名	農林部 林政課	担当係名		
	課長名	農林部 林政課	担当者名	山口 翔	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 2項 2目 森林適正管理推進事業 (005-01)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	森林所有者の森林施策に対する意欲を増進し、森林の健全化と公益的機能の維持・増進を図るため、人工林の保育作業等に係る経費に対する補助を行う。					
根拠法令等	盛岡市間伐等促進対策事業補助金交付要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>林業収支の悪化により、森林所有者の林業投資が難しくなった結果、適期の作業がなされず、これを放置すれば森林の公益的機能が発揮できないため、森林所有者による間伐等に対し、支援の強化が求められたことから、平成6年度から開始された。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
なし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
本市の民有林の人工林は、間伐対象とされる5～9齢級の林分が半分以上を占め、今後、間伐材の利用拡大と新たな市場開拓が必要となる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	民有林と森林所有者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 民有林(私有林人工林)面積(盛岡・都南地域)	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・森林適正管理推進事業:市単独で除間伐、枝打及び再造林への9%の高上げ補助 ・森林適正管理推進資金貸付事業:盛岡市森林組合へ作業員の賃金を貸し付け ・間伐材搬出利用促進事業:搬出して利用した間伐材に対し1㎡あたり1,000円の補助 ・間伐等作業道開設等促進事業:林内作業道の開設等に要する経費に対し事業費の45%以内の額で補助 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 同上	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 森林適正管理推進事業の事業量(盛岡・都南地域)	単位	ha
				B. 間伐材搬出利用促進事業の事業量(盛岡・都南地域)	単位	㎡
				C. 間伐等作業道開設等促進事業の事業量(盛岡・都南地域)	単位	km
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	森林整備を促進することにより、林業振興が図られるほか、森林の持つ公益的機能の維持増進を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 施業の行われた私有林面積(盛岡・都南地域) 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	ha
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	民有林(私有林人工林)面積(盛岡・都南地域)	ha	7.491	7.491	7.491	7.491	7.491	7.491	24年度 7.491
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	森林適正管理推進事業の事業量(盛岡・都南地域)	ha	86.72	94	130	61	86	130	24年度 130
活動 指標B	間伐材搬出利用促進事業の事業量(盛岡・都南地域)	m <sup>3</sup>	167	168	380	99	365	400	24年度 400
活動 指標C	間伐等作業道開設等促進事業の事業量(盛岡・都南地域)	km	0.79	0.94	1.00	0	0.5	0.5	24年度
成果 指標A	施業の行われた私有林面積(盛岡・都南地域)	ha	129.28	118	200	73.69	200	200	24年度 200
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	21,951	22,542	23,524	21,566	22,809	22,809	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	21,951	22,542	23,524	21,566	22,809	22,809	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	21,951	22,542	23,524	21,566	22,809	22,809	*****
延べ業務時間数		時間	160	160	160	160	160	160	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	640	640	640	640	640	640	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	22,591	23,182	24,164	22,206	23,449	23,449	*****


### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 木材価格の低迷により森林所有者の経営意欲が低下しているため、各種助成を行うことにより、森林施業の意欲を回復させ、林業の振興に繋がる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 林業の振興は当市の大きな目的であり、また、森林の公益的機能の低下は市民生活にも大きな影響を与えるため、市が助成する必要がある。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市内の森林所有者を対象としており、適正に設定されている。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 林業の振興、森林の公益的機能の維持ともに絞ったり拡大したりする性質のものではない。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 類似事業との統合による事業費の有効活用等により成果の向上を期待できる。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 助成がなくなることで林業に対する意欲の低下を招くことになり、林業の低迷を加速させてしまう可能性が大きく、また森林の公益的機能が低下することで市民生活に大きな影響が出る考えられる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費の削減により補助率、補助単価が下がれば森林所有者の意欲を低下させ、貸付金を減額すれば施業資金そのものが不足する可能性がある。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 内容に変動はあるものの、従来からの継続事業であり、効率化に務めている。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 全ての森林所有者を対象としていることから適正である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益機会は均等であるといえる。また林業が低迷している現状を踏まえると森林所有者にさらなる負担を強いるのは望ましくない。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 国の補助体系が変化してきているため、それに合わせて市の補助体系を柔軟に対応させることにより、補助内容の整備・充実や予算の有効活用を図ることができる。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 市の財政状況から事業費全体の予算枠の増額は困難であると思われるが、成果の面からは期待される場所である。</p>
---------	--

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>県民税事業が増えたことにより、本事業の利用が少なくなっ課いる現状がある。なお、22年度に事業を見直し、同事業を実施していた産業振興課の予算を整理した。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>補助事業は23年度、本格的には24年度に変更されることから、その内容に合った事業となるよう継続して検討していく。</p>												